

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年12月13日

計画の名称	矢巾町における防災・安全に関する下水道事業（第2期）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	矢巾町												
計画の目標	矢巾町ストックマネジメント計画に基づき、適切かつ計画的に下水道施設の維持管理を行い、安全・安心で快適な生活環境を保つ。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	452	A	452	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

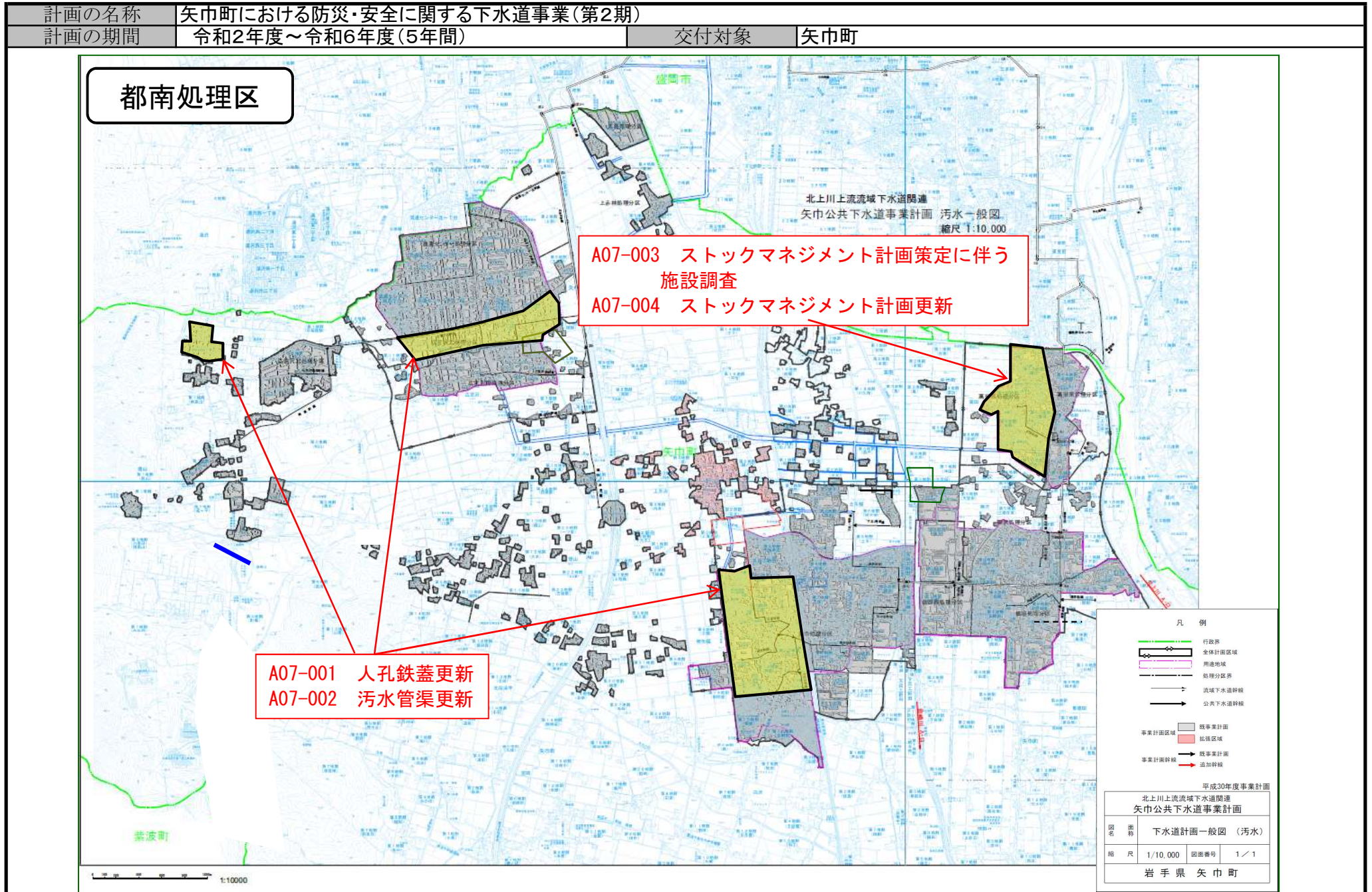
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	ストックマネジメント計画に基づき、老朽化が著しい人孔鉄蓋の更新を行い、5年後の実施率を80%にする。 ストックマネジメント計画に基づく人孔鉄蓋の更新率 更新を実施した人孔鉄蓋枚数（枚）／更新を実施すべき人孔鉄蓋枚数（枚）	9%	47%	80%
2	ストックマネジメント計画に基づき、老朽化が著しい管渠の更新を行い、5年後の実施率を80%にする。 ストックマネジメント計画に基づく管渠の更新率 更新を実施した管渠延長（m）／更新を実施すべき管渠延長（m）	18%	53%	80%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	人孔鉄蓋更新	更新枚数 205箇所	矢巾町		■	■	■	■	77	—	策定中		
		ストックマネジメント計画																			
	A07-002	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	汚水管渠更新	更新延長 L=3, 200m	矢巾町	■	■	■	■	■	300	—	策定済		
		ストックマネジメント計画																			
	A07-003	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント計 画策定に伴う施設調査	調査延長 L=10. 0km	矢巾町	■	■	■	■	■	50		策定済		
		ストックマネジメント計画																			
	A07-004	下水道	一般	矢巾町	直接	矢巾町	管渠（ 污水）	改築	ストックマネジメント計 画更新	計画更新 L=10. 0km	矢巾町					■	■	25	—	策定済	
		ストックマネジメント計画																			
												小計						452			
												合計							452		

(参考様式3) (参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 矢巾町における防災・安全に関する下水道事業（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性等 1) 都道府県構想（見直しを含む）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性等 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性等 3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標値および内容の妥当性等 1) 緊急性が高い課題に取り組む内容となっている。（施設の長寿命化対策）	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 河川等の水質改善に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤整備計画の実現可能性 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤整備計画の実現可能性 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤整備計画の実現可能性 3) 継続的な汚水処理（雨水処理）の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤整備計画の実現可能性 4) 地域の実状に応じた計画になっている。	○

